

東証一部 6143

未来を創る



2017年3月期 第2四半期
決算説明資料

2016年11月25日

Sodick
株式会社 ソディック

ポイント	3
I. 2017年3月期 2Q決算概要	4
II. 2017年3月期 通期業績見通し	15
(参考資料)	20

2017年3月期 2Q実績

- ✓ 第1四半期において業績が伸び悩んだこと、また急激な円高進行の影響等もあり、売上高283億87百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益19億82百万円（前年同期比37.5%減）。
- ✓ 第2四半期に入り、国内外共に受注・売上が回復基調にあり、営業利益率についても第1四半期に比べ大幅に改善。
- ✓ 国内は6月に採択された補助金が後押しとなり、売上・受注ともに回復。
- ✓ 海外は、北米・欧州は堅調な需要が見られたほか、中国についても春節明けの設備投資需要や高精度機種需要の増加もあり、期後半にかけて売上・受注ともに回復。

2017年3月期 通期業績見通し

- ✓ 足元の受注状況も堅調に推移していることから、8月10日に修正した通期業績予想は据え置く。売上高611億円、営業利益53億円を見込む。
- ✓ 先進国市場（国内、北米、欧州）においては、自動車・航空宇宙・医療機器関連の設備投資需要が底堅く、引き続き堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏においては、人件費の高騰などに伴い自動化・高精度な設備需要が増加。足元の受注は回復基調にあり、堅調に推移していく見通し。
- ✓ 新興国市場は経済減速を受け、引き続き厳しい展開が続く見通し。

I. 2017年3月期 2Q決算概要



業績ハイライト



- ✓ 第1四半期において業績が伸び悩んだこと、また急激な円高進行の影響等もあり第2四半期は前年同期比減収減益。
- ✓ 国内外共に受注・売上ともに回復基調にあり、利益面については第1四半期に比べ大幅に改善。
- ✓ 為替動向が円高に推移した影響を受け、営業外費用において為替差損 8億60百万円を計上。

(百万円)

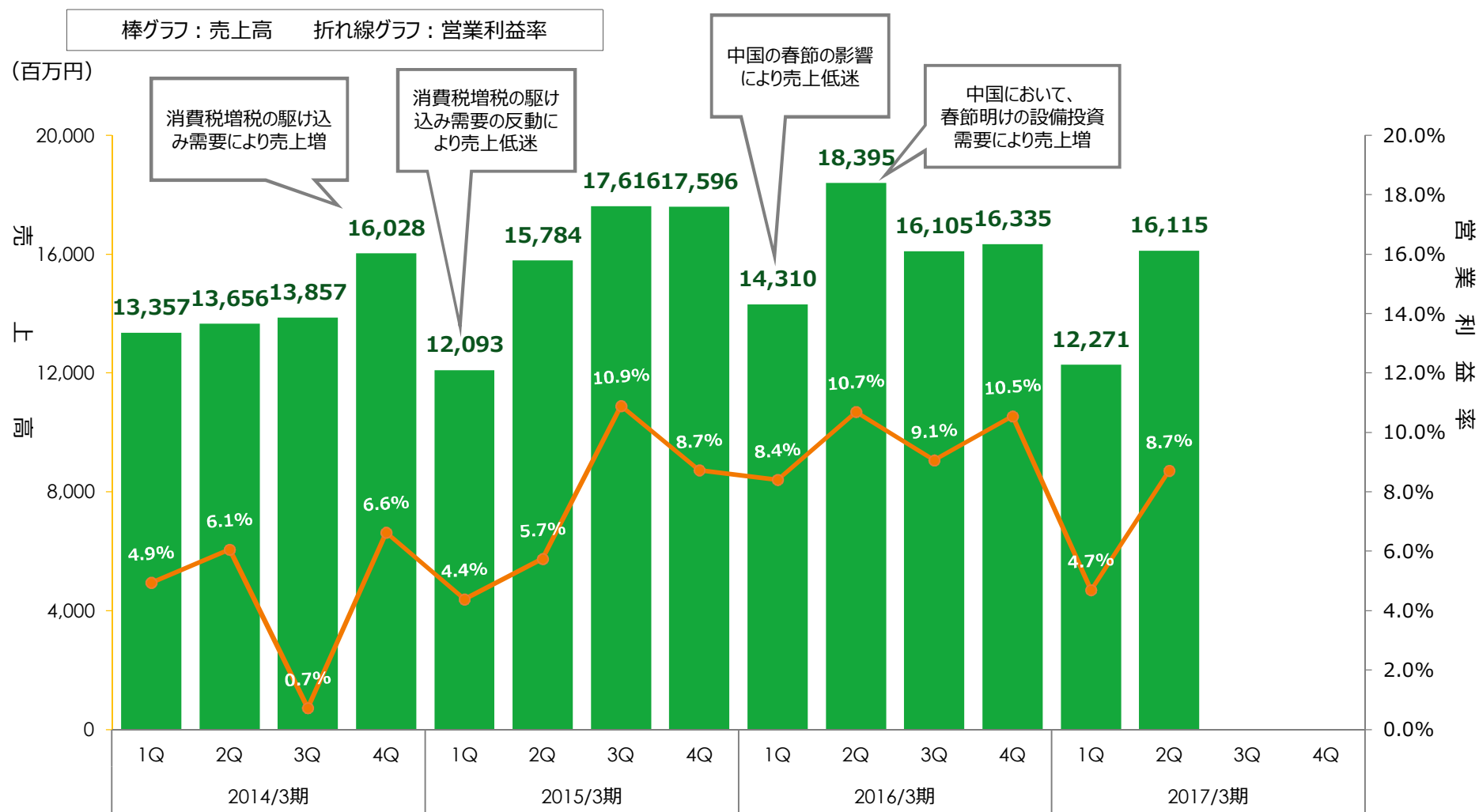
	2016年3月期 2Q		2017年3月期 2Q		前年同期比		2017年3月期 上期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	増減率	
売上高	32,705	-	28,387	-	△4,318	△13.2%	28,800
売上総利益	11,708	35.8%	10,323	36.4%	△1,384	△11.8%	-
営業利益	3,170	9.7%	1,982	7.0%	△1,187	△37.5%	2,150
経常利益	3,132	9.6%	1,050	3.7%	△2,081	△66.5%	1,500
純利益	2,604	8.0%	1,058	3.7%	△1,545	△59.3%	1,300

期中平均 為替レート	ドル	121.87 円	105.20 円	105.48 円
	ユーロ	135.11 円	118.04 円	118.14 円
	人民元	19.32 円	17.05 円	16.54 円
	バーツ	3.57 円	3.00 円	3.00 円

※参考情報 2017年3月期2Q末 為替レート ドル：101.12円 ユーロ：113.36円 人民元：15.46円 バーツ：2.91円
 2016年3月期末 為替レート ドル：112.68円 ユーロ：127.70円 人民元：18.36円 バーツ：3.19円

売上高・営業利益率推移（四半期毎）

- ✓ 当第2四半期は国内の補助金案件が業績に寄与したほか、中華圏において春節明けの設備投資需要や高精度機種の販売が好調に推移したこと等もあり、当第1四半期比で増収増益を確保。



セグメント別業績



(百万円)

		2016年3月期 2Q 実績	2017年3月期 2Q 実績	前年同期比	
				(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	24,367	19,983	△ 4,383	△18.0%
	● 産業機械事業	4,139	3,860	△ 278	△6.7%
	● 食品機械事業	1,474	1,772	297	20.2%
	● その他事業	2,724	2,770	46	1.7%
		32,705	28,387	△ 4,318	△13.2%
セグメント 利益	● 工作機械事業	3,611	2,606	△ 1,005	△27.8%
	● 産業機械事業	67	17	△ 49	△73.5%
	● 食品機械事業	222	154	△ 67	△30.3%
	● その他事業	482	483	1	0.3%
		4,383	3,262	△ 1,120	△25.6%
調整額		△ 1,212	△ 1,279	△ 66	5.5%
営業利益 合計		3,170	1,982	△ 1,187	△37.5%

工作機械事業

- ✓ 国内はスマートフォン関連向け需要に一服感が見られたものの、自動車関連の需要は引続き好調。
- ✓ 北米は航空宇宙、医療機器関連からの需要が堅調。
- ✓ 欧州は自動車、航空宇宙関連は堅調だが、ロシア等で減速感あり。
- ✓ アジアは引続き厳しい状況が続くものの、中華圏は高精度な機械需要の高まりを受け、売上・受注ともに堅調。

産業機械事業

- ✓ 国内は、自動車関連から車載関連、コネクタ向けの需要が好調。スマートフォン関連では、レンズなど高付加価値部品向けの需要は堅調。
- ✓ アジア・中華圏では、円高の影響や価格競争の激化もあり売上、利益計画対比伸び悩む。

食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 海外からの製麺機の需要あり。

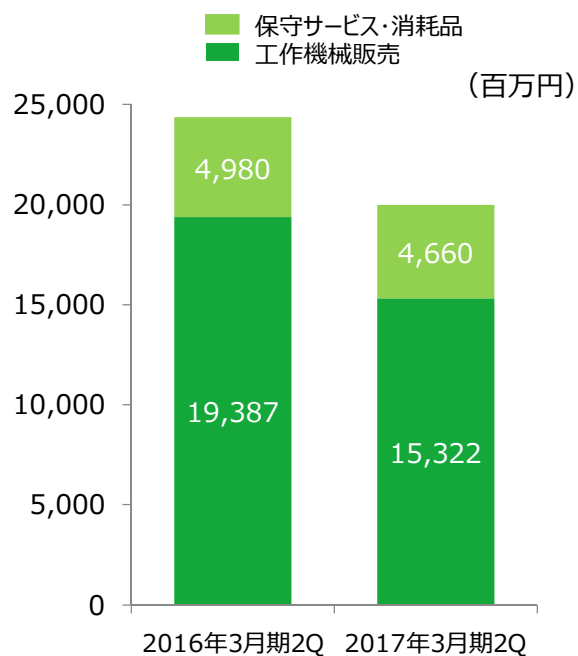
その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業は自動車関連向けを中心に順調。

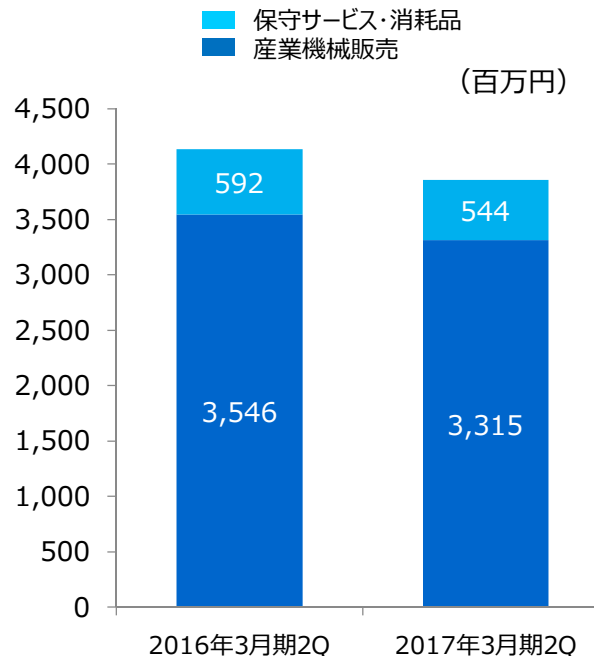
セグメント別 売上高内訳

✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は22%程度を占める。

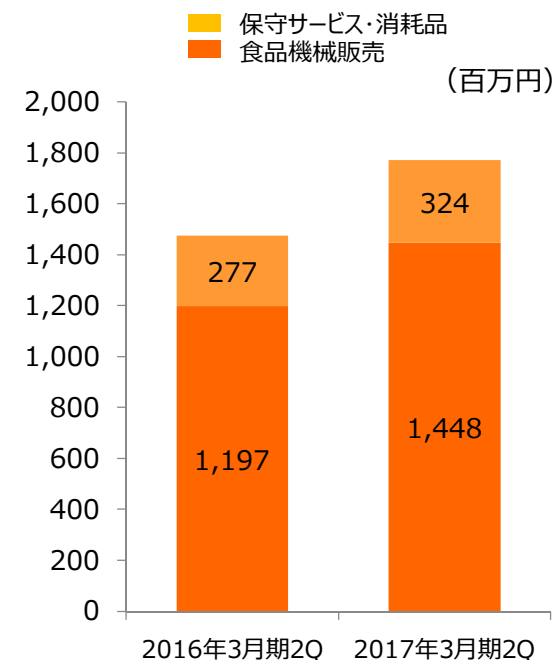
工作機械事業



産業機械事業



食品機械事業



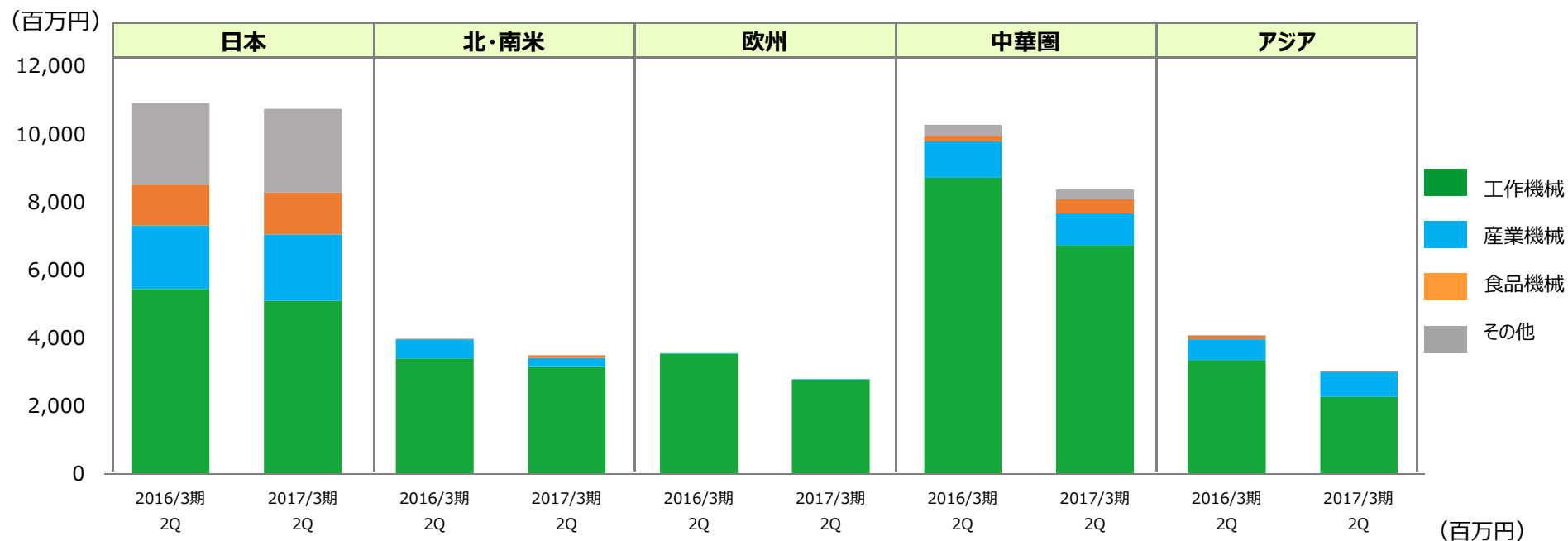
工作機械事業	2016年3月期2Q	2017年3月期2Q
工作機械販売	19,387	15,322
保守サービス・消耗品	4,980	4,660
合計	24,367	19,983

産業機械事業	2016年3月期2Q	2017年3月期2Q
射出成形機販売	3,546	3,315
保守サービス・消耗品	592	544
合計	4,139	3,860

食品機械事業	2016年3月期2Q	2017年3月期2Q
食品機械販売	1,197	1,448
保守サービス・消耗品	277	324
合計	1,474	1,772

事業別海外売上高比率

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は62.2%。



2016年3月期 2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,422	22.3%	3,379	13.9%	3,520	14.4%	8,708	35.7%	3,335	13.7%	24,367	74.5%
産業機械	1,873	45.3%	569	13.7%	1	0.0%	1,079	26.1%	615	14.9%	4,139	12.7%
食品機械	1,213	82.3%	3	0.2%	0	0.0%	158	10.7%	99	6.8%	1,474	4.5%
その他	2,396	88.0%	0	0.0%	0	0.0%	317	11.6%	11	0.4%	2,724	8.3%
地域別計	10,906	33.3%	3,951	12.1%	3,522	10.8%	10,263	31.4%	4,061	12.4%	32,705	100.0%

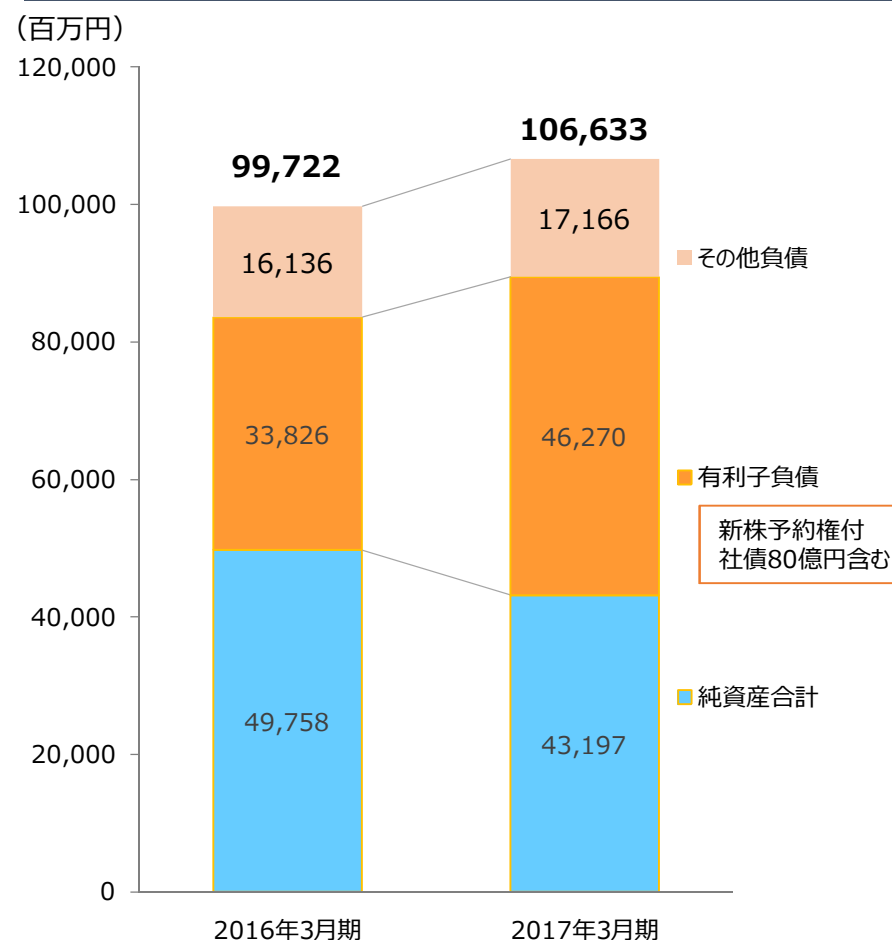
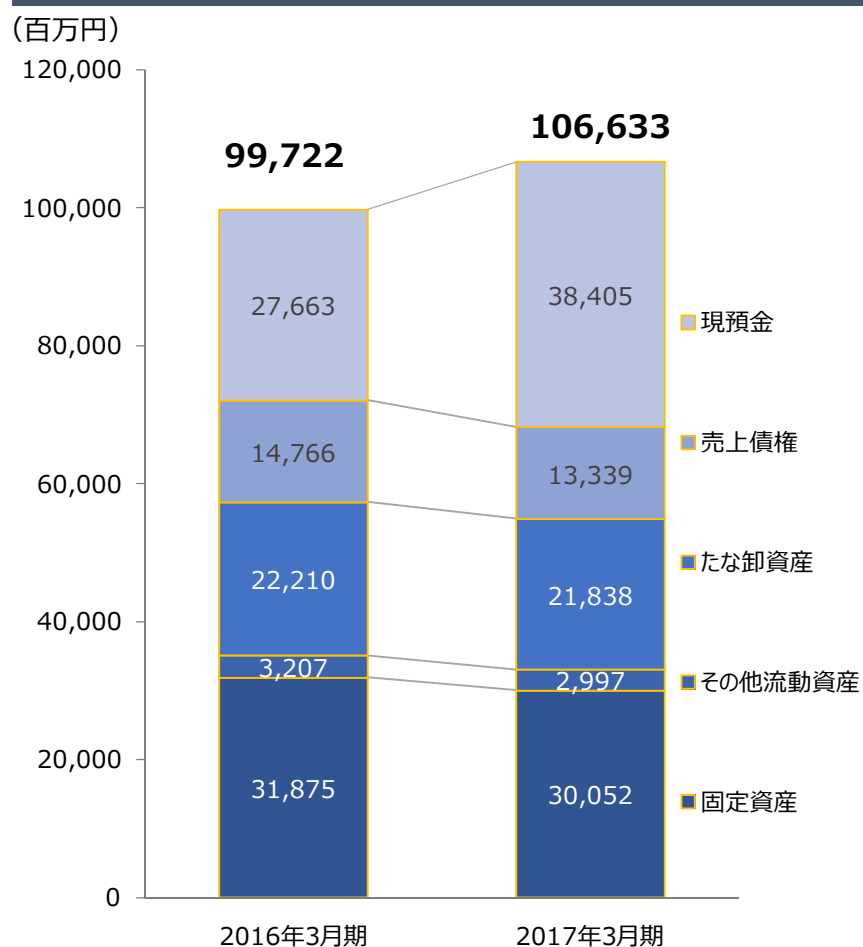
2017年3月期 2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,091	25.5%	3,131	15.7%	2,765	13.8%	6,727	33.7%	2,268	11.3%	19,983	70.4%
産業機械	1,941	50.3%	263	6.8%	3	0.1%	927	24.0%	723	18.8%	3,860	13.6%
食品機械	1,235	69.7%	85	4.8%	0	0.0%	420	23.7%	32	1.8%	1,772	6.2%
その他	2,474	89.3%	0	0.0%	0	0.0%	296	10.7%	0	0.0%	2,770	9.8%
地域別計	10,743	37.8%	3,480	12.3%	2,768	9.8%	8,371	29.5%	3,023	10.6%	28,387	100.0%

貸借対照表

- ✓ 新株予約権付社債にて80億円調達したことにより、有利子負債・手元現預金が大幅に増加（80億円のうち、自己株式取得に約30億円充当済、残りは研究開発費等に充当予定）。流動性は200%以上を維持。
- ✓ 円高により海外子会社への出資金等の為替換算調整勘定が減少したこと、自己株取得等により純資産が減少。

資産

負債・純資産



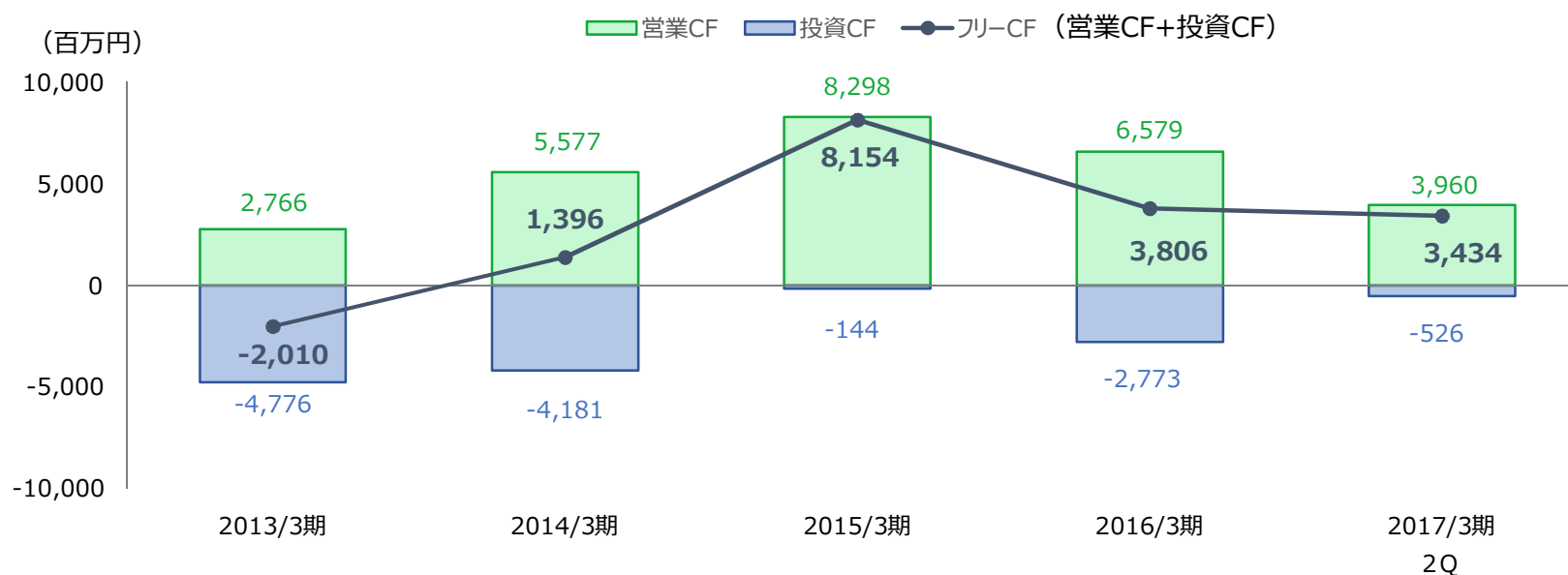
	2017年3月期2Q末		2016年3月期末	
為替レート	ドル : 101.12円	ユーロ : 113.36円	ドル : 112.68円	ユーロ : 127.70円
	人民元 : 15.46円	バーツ : 2.91円	人民元 : 18.36円	バーツ : 3.19円

キャッシュ・フロー

- ✓ フリーキャッシュ・フローは、34億34百万円のプラス（前年同期比9億18百万円増）。
- ✓ 新株予約権付社債の発行及び長期運転資金の調達により、財務活動によるキャッシュ・フローが増加（前年同期比67億55百万円増）。

(百万円)

	2016年3月期 2Q	2016年3月期	2017年3月期 2Q	主な増減要因（前年同期四半期比）
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,251	6,579	3,960	仕入債務、前受金の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△735	△2,773	△526	有形固定資産の取得による支出 △約8億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,508	△2,854	9,263	新株予約権付社債発行による収入 +80億円 長期借入による収入 +約105億円 長期借入金の返済 △約55億円 自己株式の取得 △30億円
現金及び現金同等物の期末残高	32,229	27,328	38,007	



1 精密金属3Dプリンタ「OPM350L」販売開始

大型化、多様化する金属3Dプリンタへのニーズに対応するため、2014年10月から販売している「OPM250L」の大型化製品としてラインナップし2016年11月より販売を開始しています。

最大造形寸法を350×350×350mmに拡大、レーザーの機能向上により加工速度の向上を可能にしました。ヒューム処理能力も大幅に拡大し、長時間連続運転ができます。

「OPM250L」と同等の加工面質、加工精度を実現しつつ、より大型の造形物に対しての加工速度が飛躍的に向上しています。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

http://www.sodick.co.jp/pdf/161011161517_Release_20161011.pdf



2 OPM金型専用 生産セルシステム「MR30」の開発

当社の精密金属3Dプリンタで製造した金型専用の射出成形機を開発しました。プラスチック成形品生産における樹脂成形時の冷却効果を最大限に引き出すことで、成形サイクルの大幅短縮と成形品の変形抑制及び歩留り向上を実現します。

<特徴>

- ①金属3Dプリンタで製造した3次元冷却配管内蔵の金型専用。
→成形サイクル大幅短縮、成形品の変形抑制、歩留まり向上。
- ②V-LINE®方式+シングルトルグル型締機構の採用による安定したハイサイクル成形。
- ③カセット式金型を採用し、金型交換時間（段取り時間）を大幅に短縮。
- ④周辺機器（原材料投入タンク、予備乾燥、金型温調など）を一体化させた「オールインワン」構造。コンパクトな設計で低背、省スペース化。
- ⑤IoT対応の自社開発最新コントローラを搭載。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : http://www.sodick.co.jp/pdf/161115062549_NewsRelease_MR30.pdf



3 eV-LINE射出成形機「MS100」の開発

射出・可塑化部分には、精密で複雑な形状の成形において定評のあるV-LINE方式を採用し、高精度で優れた安定性を実現できることに加え、駆動部分には自社開発のサーボモータ制御技術を適応したことでより安定した高精度ハイサイクル成形を可能としています。

また、全電動であり、省エネで環境にも優しい成形機です。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : http://www.sodick.co.jp/pdf/161116123603_NewsRelease_MS100_eV-LINE.pdf



4 リニアモータ駆動 ウルトラハイスピードミーリングセンタ「UH430L LN4X」の開発

リニアモータ駆動ウルトラハイスピードミーリングセンタのモデルチェンジ機種として、新NC装置搭載の「UH430L LN4X」を開発いたしました。

<特徴>

- ①バリエーション豊富な自社開発のスピンドル
→振動・芯ブレを抑え、バランスのよい回転・トルク特性と高剛性を実現。
- ②新・NC装置「LN4X」搭載
→各軸制御サイクルの高速化及び駆動系サーボ応答の向上により、
微細精密領域での高品質な仕上げ加工が可能となる。
- ③3軸すべてに自社開発・製造のリニアモータ搭載
- ④I o T 対応ソフトウェア「ミエマース」を標準搭載。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : http://www.sodick.co.jp/pdf/161115070058_NewsRelease_UH430L_LN4X.pdf



5 IMTS 2016(International Manufacturing Technology Show)出展

アメリカシカゴで開催された世界三大工作機械見本市の一つである「IMTS2016」に出展いたしました。

3Dプリンタについての展示規模が拡大する中、当社も2016年4月よりアメリカでの販売を開始した精密金属3DプリンタOPM250Lを出展し、加工実演及びプレゼンテーションを行い、多くの引き合いを頂きました。当社ブースは多くのお客様にご来場いただき、活況となりました。

【IMTS2016 概要】

開催場所：McCormick Place (Chicago, IL,USA)

開催期間：2016/9/12-17 (6日間)

出展機種：OPM250L、ALN600G、AQ750LH、VL600Q、UH650L等

来場者数：115,612人



6 JIMTOF 2016 (第28回日本工作機械見本市) 出展

東京ビッグサイトにて開催された世界三大工作機械見本市の一つである「JIMTOF 2016」に出展いたしました。

初お披露目となる精密金属3Dプリンタ「OPM350L」とOPM金型専用射出成形機「MR30」による「プラスチック成形革命」を実演したほか、ユーザーの生産性向上に貢献する新技術、新製品をご紹介しました。

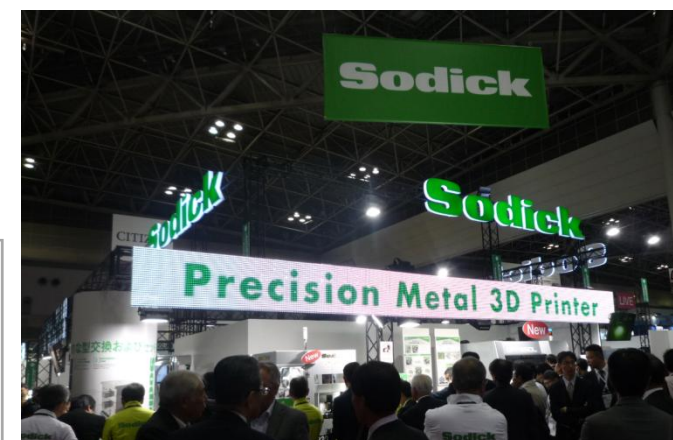
【JIMTOF 2016 概要】

開催場所：東京ビッグサイト

開催期間：2016/11/17-22 (6日間)

出展機種：OPM350L、MR30、AL600P、AG40LP、UH430L等

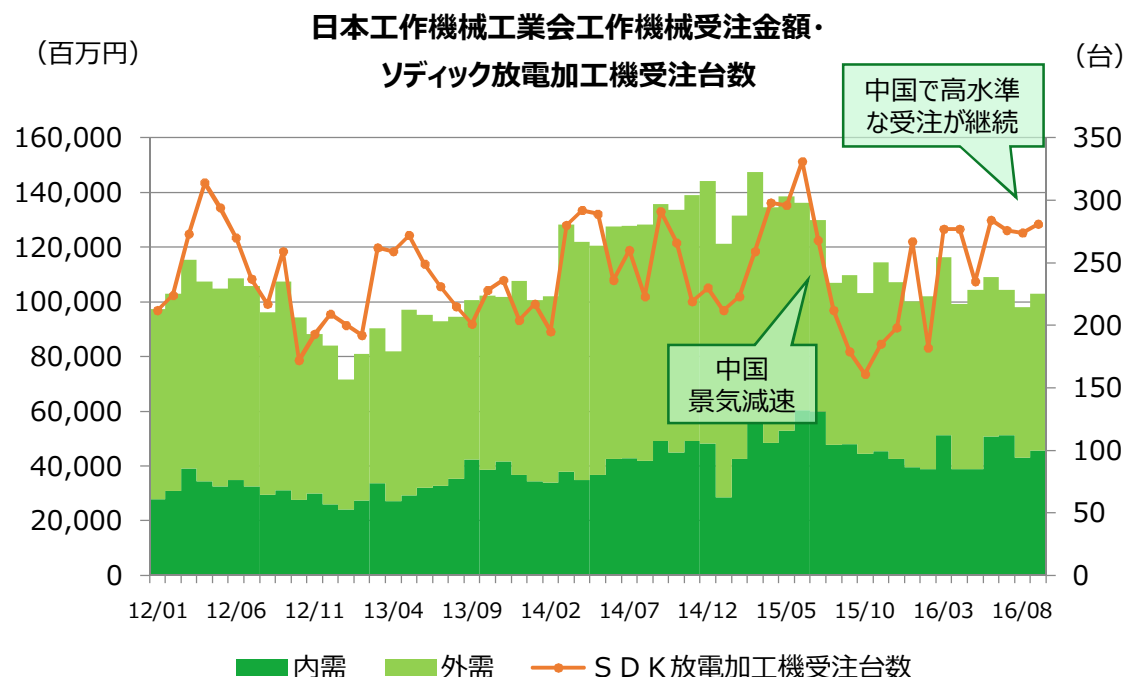
来場者数：147,602人



Ⅱ. 2017年3月期 通期業績見通し

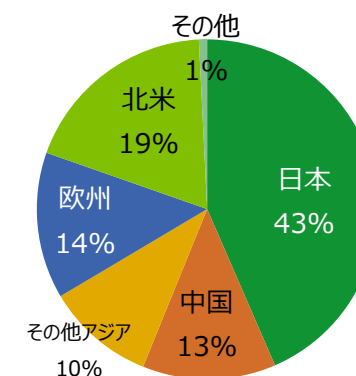


- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：足元では自動車関連向けの設備投資需要に一服感が見られるものの、航空宇宙、医療機器関連の設備投資需要が底堅く、需要は継続する見通し。米国大統領選挙結果の影響が懸念される。
- ✓ 欧州：自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通しはあるものの、ロシアなどでは減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題や地政学リスクなどもあり先行きに不透明感あり。
- ✓ 中国：成長率鈍化の影響もあり、総じて減速感が見られ、先行きに不透明感がある。
ただ、人件費の高騰等を背景に自動化への対応、より高精度な機械の需要が増加。
- ✓ アジア：新興国経済は経済減速の影響により引き続き厳しい状況が続く見通し。



出典：日本工作機械工業会

日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2016年4月-2016年9月累計)



出典：日本工作機械工業会

2017年3月期 通期業績予想

- ✓ 受注状況は順調に推移していることから、通期業績予想は据え置く。
- ✓ 上期については第1四半期において業績が伸び悩んだことから、通期予想に対し達成率は低いものの、足元では受注は計画以上に推移しており、下期にかけて収益性は改善していく見込み。

(百万円)

	2016年3月期		2017年3月期 2Q		2017年3月期 通期		前期比		通期予想 達成率
	実績	利益率	実績	利益率	予想	利益率	金額	増減率	
売上高	65,146	-	28,387	-	61,100	-	△ 4,046	△ 6.2%	46.5%
営業利益	6,353	9.8%	1,982	7.0%	5,350	8.8%	△ 1,003	△ 15.8%	37.0%
経常利益	5,719	8.8%	1,050	3.7%	4,550	7.4%	△ 1,169	△ 20.4%	23.1%
当期純利益	4,167	6.4%	1,058	3.7%	3,500	5.7%	△ 667	△ 16.0%	30.3%
ROE	8.4%								
期中平均 為替レート	ドル	120.15 円		105.20 円		104.19 円			
	ユーロ	132.60 円		118.04 円		116.26 円			
	人民元	19.21 円		17.05 円		16.00 円			
	バーツ	3.44 円		3.00 円		2.96 円			

※上記 2017年3月期通期業績予想は8月10日に修正発表したものです。

詳細につきましては、平成28年8月10日公表の「業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別 通期予想

(百万円)

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 2Q 実績	2017年 3月期 通期 予想	前期比		通期予想 達成率	
				(額)	(率)		
売上高	● 工作機械事業	47,789	19,983	42,320	△ 5,469	△11.4%	47.2%
	● 産業機械事業	8,633	3,860	8,680	46	0.5%	44.5%
	● 食品機械事業	3,562	1,772	4,100	537	15.1%	43.2%
	● その他事業	5,161	2,770	6,000	838	16.2%	46.2%
		65,146	28,387	61,100	△ 4,046	△6.2%	46.5%
セグメント 利益	● 工作機械事業	7,113	2,606	6,240	△ 873	△12.3%	41.8%
	● 産業機械事業	319	17	280	△ 39	△12.5%	6.4%
	● 食品機械事業	492	154	460	△ 32	△6.6%	33.6%
	● その他事業	813	483	820	6	0.8%	58.9%
		8,739	3,262	7,800	△ 939	△10.7%	41.8%
調整額	△ 2,386	△ 1,279	△ 2,450	△ 63	-	-	
営業利益 合計	6,353	1,982	5,350	△ 1,003	△15.8%	37.1%	

工作機械事業

- ✓ 先進国市場を中心に設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、景気減速の影響もあり不透明感あるものの、スマートフォン関連向けの需要が引き続き堅調に推移する見通し。
- ✓ ベトナムなど一部地域で設備投資需要が見られるものの、韓国、タイなどでは引き続き厳しい状況が続く見通し。

産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、足元の受注は過去最高水準。
- ✓ 東南アジアでは、低価格競争により引き続き厳しい状況が続く見通し。

食品機械事業

- ✓ 国内外での需要増加により、売上高は増加する見込み。
- ✓ 製麺業界以外からの機械需要あり。

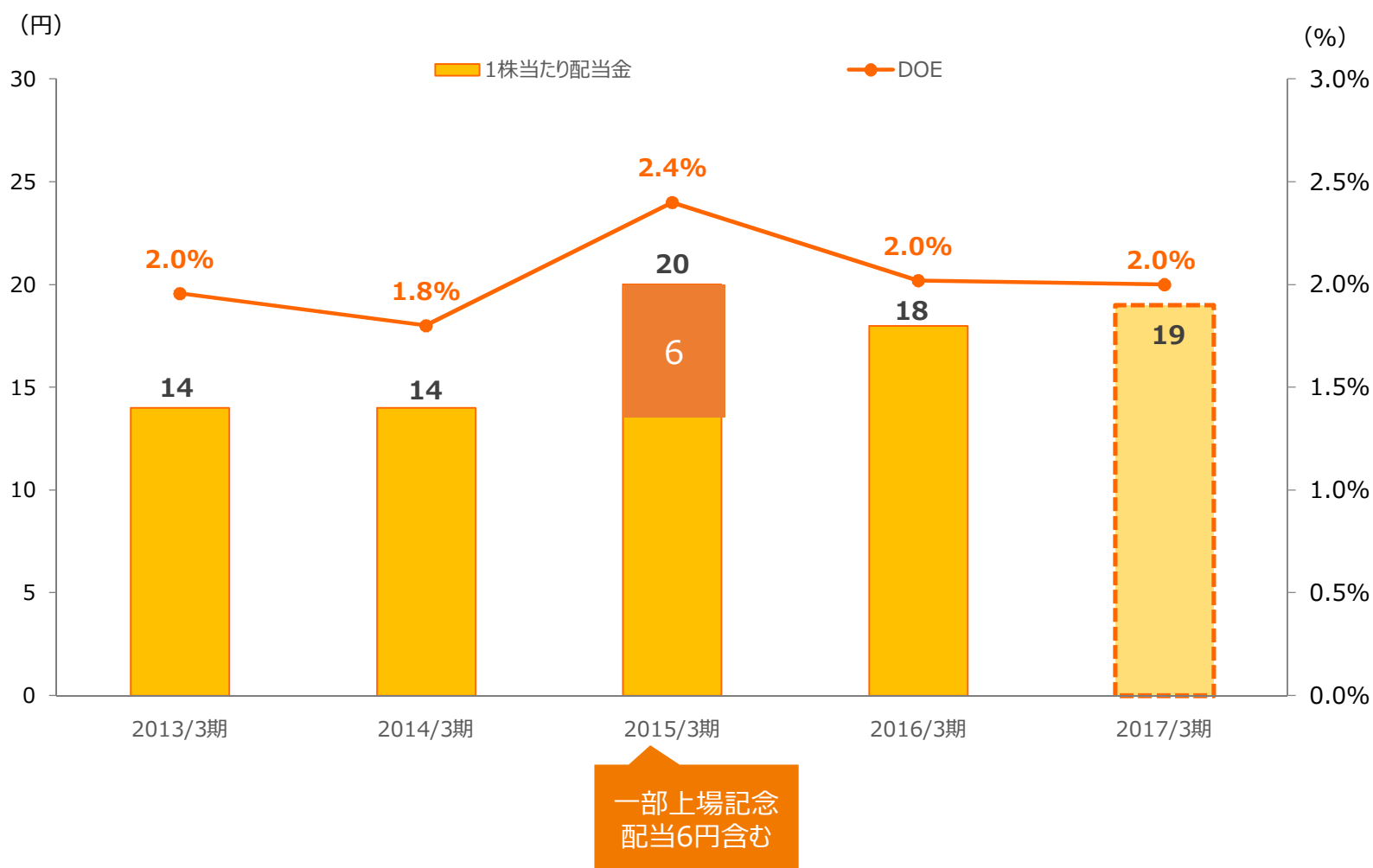
その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

※上記 2017年3月期通期業績予想は8月10日に修正したものです。

株主還元方針及び配当予想

- ✓ 配当方針として株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2017年3月期の年間配当金は、19円を予定（中間9円、期末10円）、D O Eは約2%を見込む。
- ✓ 株主還元の一環として、30億円の自社株買いを実施。（2016年4月）



(参考資料)



国内外の拠点



本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点

主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
7/5~8	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam 2016 (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
7/7~10	タイ	バンコク	InterPlas Thailand 2016	
7/27~30	インドネシア	スラバヤ	MachineTools & manufacturing Indonesia-Surabaya	
9/12~17	アメリカ	シカゴ	IMTS 2016 (国際工作機械見本市)	世界三大工作機械展示会
9/13~17	ドイツ	シュツットガルト	AMB (International Exhibition for metalworking: 国際金属加工展)	
10/6~8	ベトナム	ホーチミン	Metalex Vietnam (ベトナム国際工作機械・加工展)	
11/17~22	日本	東京	JIMTOF2016 (第28回 日本国際工作機械見本市)	世界三大工作機械展示会
11/23~26	タイ	バンコク	Metalex Thai (タイ国際工作機械・加工展)	
11/24~26	日本	横浜	日本ダイカスト展	
11/29~12/2	中国	東莞	東莞DMP2016 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
12/16~19	インドネシア	ジャカルタ	MachineTools Indonesia	
1/26~2/1	インド	バンガロール	IMTEX 2017 (Indian Metal-cutting Machine Tool Exhibition)	
3/7~11	韓国	ソウル	INTERMOLD KOREA 2017 (第23回 韓国国際金型関連設備展)	
3/7~12	台湾	台北	TIMTOS 2017 (台北国際工作機械見本市)	
4/5~7	日本	東京	高機能プラスチック展	
4/12~15	日本	東京	INTERMOLD 2017 (第28回 金型加工技術展)	
4/17~22	中国	北京	CIMT 2017 (第15回 中国国際工作機械展覧会)	
5/16~19	中国	広州	CHINAPLAS 2017 (第31回 国際プラスチック・ゴム産業展)	
6/13~16	日本	東京	FOOMA JAPAN 2017 (国際食品工業展)	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835